

# 北首都国道事務所

## 「担い手の確保・育成貢献工事」 「新技術活用工事」各表彰について

### 1. 表彰に係る様式について

北首都国道事務所の「担い手確保・育成貢献工事表彰」および「新技術活用工事表彰」の様式は、従来の「土木工事共通仕様書3-1-1-16」における様式-34「創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）」となります。

（説明）欄に、「担い手確保・育成貢献工事表彰」は【担い手の確保・育成】、「新技術活用工事表彰」は【新技術活用】とそれぞれ必ず記載して下さい。

上記を記載することで、当該表彰選定様式となりますので、「創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）」と分けて、様式を新たに追加作成する必要はありません。

提出は、様式-34「創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）」を、工事完了時までに監督職員に提出できます。提出は、必須ではありませんが、提出して頂ければ、評価されますので、積極的に提出して頂きたくお願い致します。

記載内容については、記者発表資料にある取り組み例や、様式の記載例を参考にして下さい。

● 土木工事共通仕様書 3-1-1-16 より「様式-34」について ●

※それぞれの表彰は、下表の項目・評価内容に該当します。

様式-34(1)

創意工夫・社会性等に関する実施状況

工事名	受注者名	
項目	評価内容	実施内容
<input checked="" type="checkbox"/> 創意工夫  自ら立案実施した創意工夫や技術力	<input type="checkbox"/> 施工	・施工に伴う器具、工具、装置等の工夫 ・コンクリート二次製品等の代替材の適用 ・施工方法の工夫、施工環境の改善 ・仮設備計画の工夫 ・施工管理の工夫 ・ICT(情報通信技術)の活用 等
	<input checked="" type="checkbox"/> 新技術活用	NETIS登録技術のうち、 ・試行技術の活用 ・「少実績優良技術」の活用 ・「少実績優良技術」を除く「有用とされる技術」の活用 ・試行技術及び「有用とされる技術」以外の新技術の活用  <b>(取り組み例)・新技術活用を図る取り組み</b>
	<input type="checkbox"/> 品質	・土工、設備、電気の品質向上の工夫 ・コンクリートの材料、打設、養生の工夫 ・鉄筋、コンクリート二次製品等使用材料の工夫 ・配筋、溶接作業等の工夫 等
	<input type="checkbox"/> 安全衛生	・安全衛生教育・講習会・パトロール等の工夫 ・仮設備の工夫 ・作業環境の改善 ・交通事故防止の工夫 ・環境保全の工夫 等
<input checked="" type="checkbox"/> 社会性等  地域社会や住民に対する貢献等	<input checked="" type="checkbox"/> 地域への貢献等	・周辺環境への配慮 ・現場環境の周辺地域との調和 ・地域住民とのコミュニケーション ・災害時など地域への支援・行政などによる救援活動への協力 等  <b>(取り組み例)・建設業の担い手の確保及び育成に関する取り組み</b>

「新技術活用工事」表彰

「担い手の確保・育成貢献工事」表彰

創意工夫・社会性等に関する実施状況

工事名	〇〇工事		
項目	社会性等	評価内容	地域への貢献等
実施内容	地元の小学生を対象に現場見学会を実施した。		

(説明) **3) 建設業界への入職のきっかけづくりとなる工夫**  
**↑取り組み例を参考に、どのような取り組みかを記載下さい。**

地元の小学生を対象に現場見学会を実施しました。  
 見学会では、専門用語などの難しい用語については、できるだけわかりやすいように、図解を用いて紙芝居形式で説明したり、現場での作業について、実際に建設機械の試乗体験や、VRを使った模擬体験をして頂きました。

また、見学会後の率直な子供達の意見を徴収するため、学校側と相談して、簡単なアンケートを作成・実施することができました。このアンケートの回答を元に、現場環境の改善や今後の見学会の開催に役立て、未来を担う子供達が、建設業界へ興味を持ち、入職のきっかけとなる手助けが出来るような「産・学サポートプラン」の企画書を社内にて検討しました。

実施日：〇年〇月〇日～〇年〇月〇日  
 対象者・人数：〇〇小学校、〇学年、〇名（〇〇工事と合同実施）  
 マスコミ取材：〇〇新聞社

【担い手の確保・育成】

※赤枠部分を必ず記載。

(添付図)

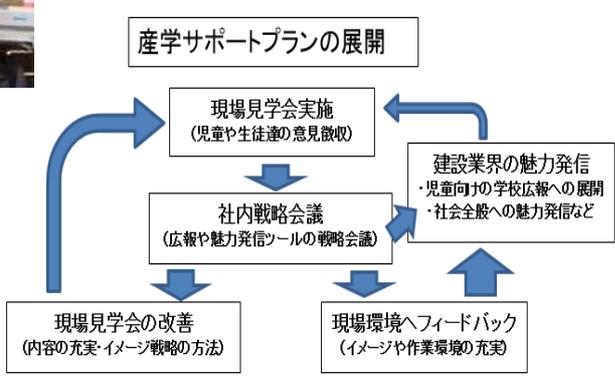


現場見学会の実施状況



VRによる施工体験実施状況

産学サポートプランの展開(構想案)→



説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする

創意工夫・社会性等に関する実施状況

工事名	〇〇工事		
項目	創意工夫	評価内容	新技術活用
実施内容	3Dレーザースキャナーによる現況地形確認システムを活用した。		

(説明)NETIS登録番号:〇〇〇〇 新技術名:〇〇〇〇〇

道路改良工事の起工測量時の現況測量に、新技術として、3Dレーザースキャナーによる現況地形確認システムを活用した。

追加測量が無く、1回の作業で済むため、従来のトータルステーションによる計測よりも、計測時間・日数が短縮され、約5%のコスト削減が図れた。また追加作業が無くなったことで、現場の省力化・省人化が図れた。また、計測時間・作業日数の短縮が図れたため、余裕期間が生じた。週休2日制の実施や、熟練の作業員と若手作業員の意見交換の時間が出来た。 **(経済性・工程)**

計測後のデータは、3Dで立体的に表現できるため、計測後の土量管理、縦横断面図の作成が、より正確でわかりやすく整理でき、出来形管理の品質向上に努めることが出来た。 **(品質・出来形)**

急斜面法面の横断測量や、人が入れない危険箇所立ち入らないで計測できたため、事故無く安全に作業ができた。また、技術を活用する上で、現場内の危険箇所についての対策を検討する機会につながった。 **(安全性)** ← 取り組み例を参考に、何の取り組みかを記載して下さい。

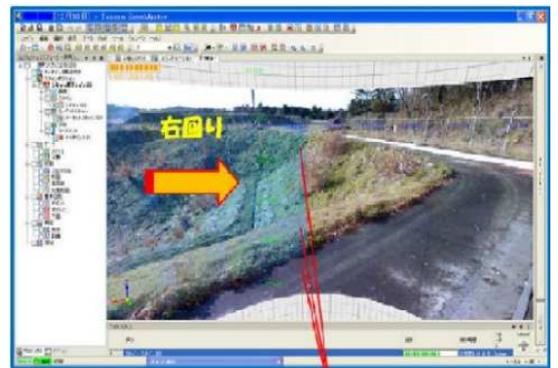
**【新技術活用】**

※赤枠部分を必ず記載。

(添付図)



道路改良工事箇所における現況データ取得状況



3Dレーザースキャナーによる計測画面



3Dレーザースキャナーにより取得した点群データ

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別業とする